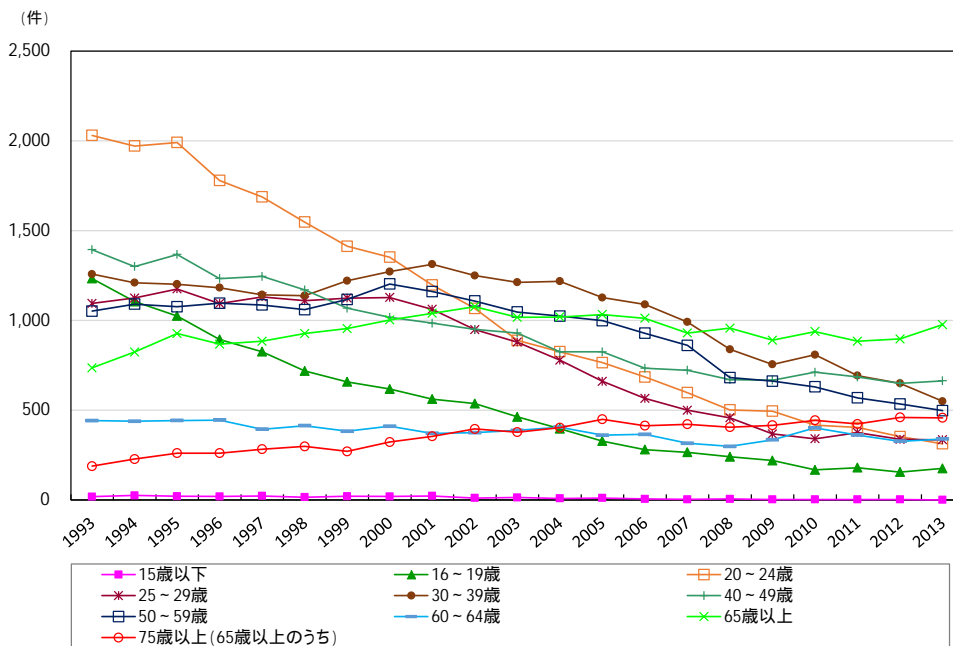


5. 第1当事者年齢階層別交通事故死亡件数

かつて第1当事者死亡事故件数の多かった20～24歳は大きく減少し、2008年以降は65歳以上の事故件数が全年齢階層の中で最も多くなっており、かつ2012年以降若干の増加がみられる。高齢者以外の年齢階層では、2008年以降は概ねやや減少又はほぼ横ばいである。

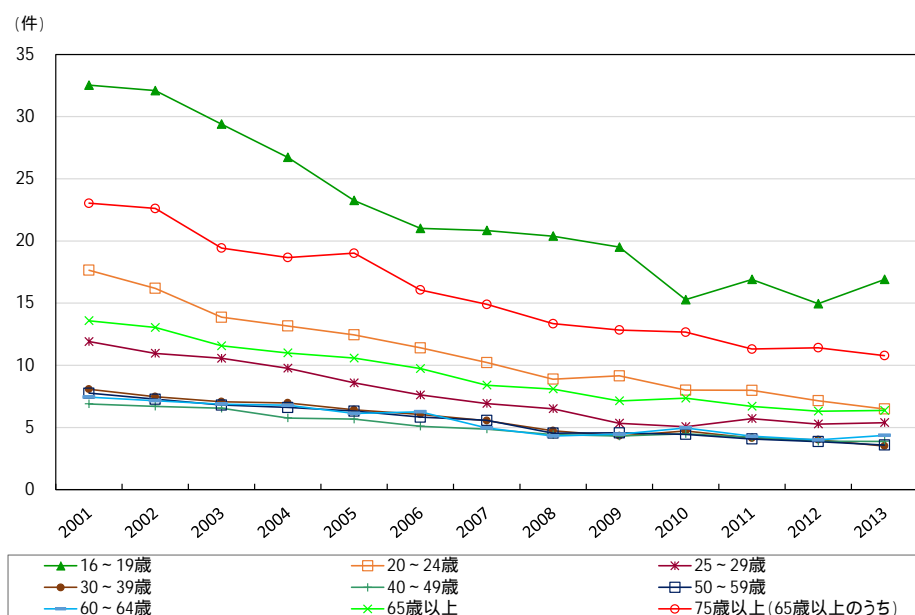
運転免許保有人口あたりでは、16～19歳の事故件数が最も多くなっており、全体としてはやや減少又はほぼ横ばいで推移している。

図表 3-9 第1当事者年齢階層別死亡事故件数の推移（自動車等）



注) 件数は自動車、自動二輪車、原付の合計値
資料) 交通統計 (ITARDA) による

図表 3-10 1当年齢階層別運転免許保有人口10万人あたりの死亡事故件数の推移（自動車等）



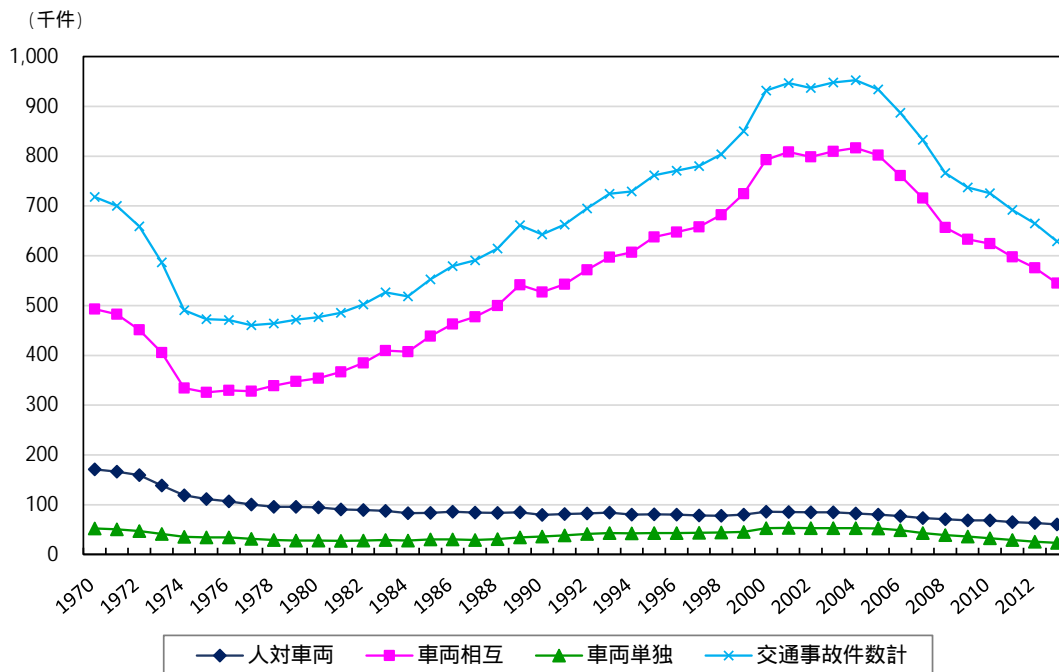
注) 件数は自動車、自動二輪車、原付の合計値
資料) 運転免許保有者数：運転免許統計 (警察庁) による
死亡事故件数：交通統計 (ITARDA) による

6. 事故類型別道路交通事故発生件数・死亡事故発生件数

事故類型別の道路交通事故件数では、車両相互の事故が突出して多い。

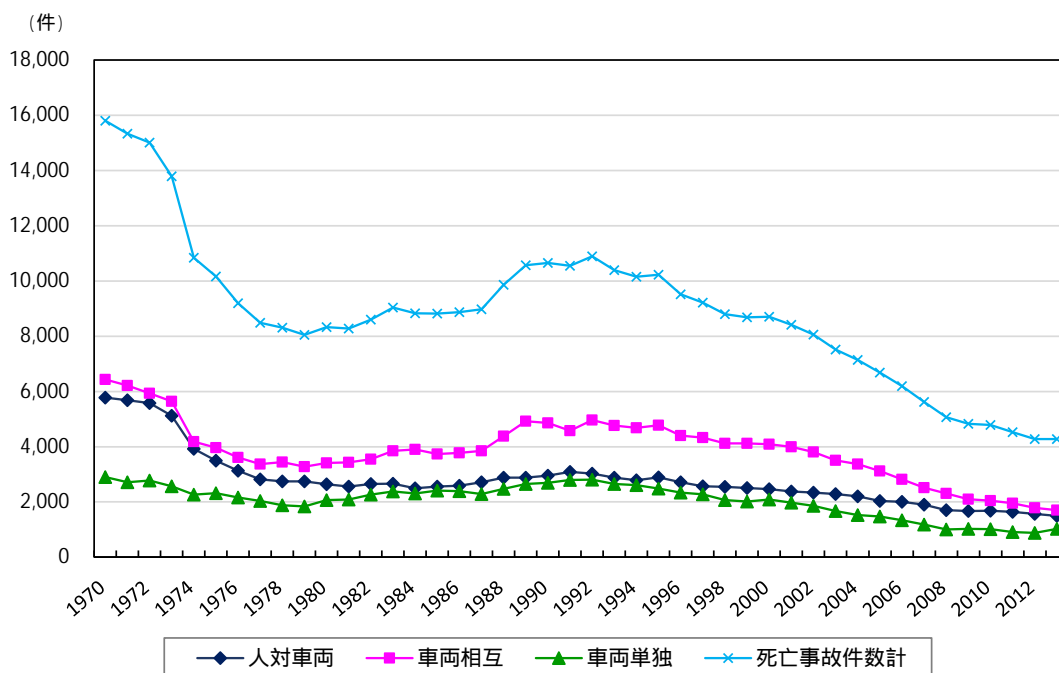
死亡事故に関しては、1970年代中頃以降車両相互が最も多い状態が続いていたが、2007年頃からは人対車両と車両相互の件数の差が小さくなっている。

図表 3-11 事故類型別交通事故発生件数の推移



資料) 交通統計 (ITARDA) による

図表 3-12 事故類型別死亡事故発生件数の推移



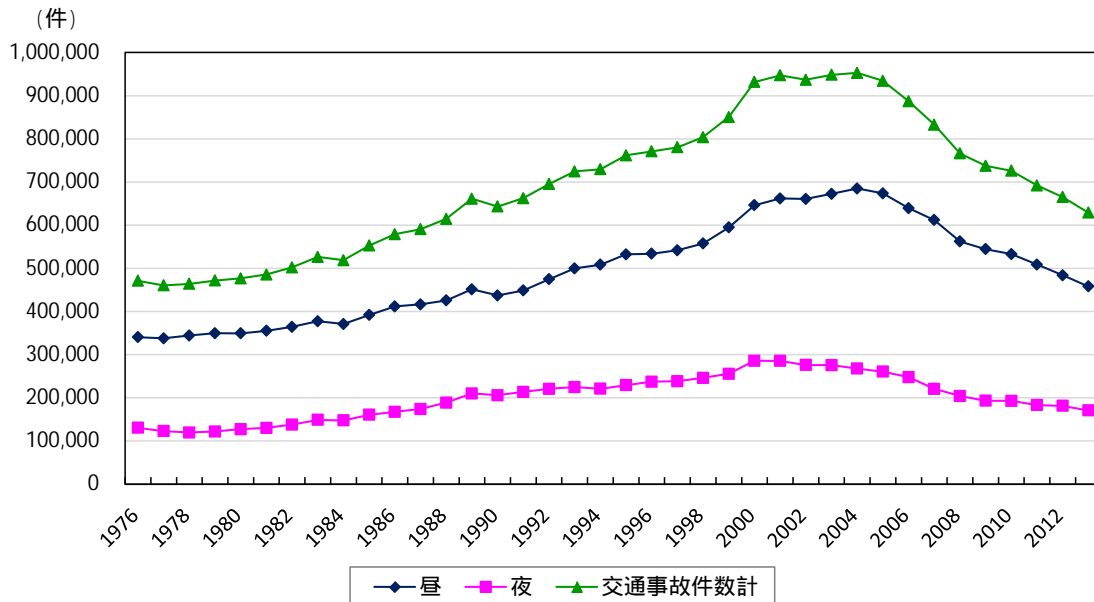
資料) 交通統計 (ITARDA) による

7. 昼夜別道路交通事発生件数・死亡事故発生件数

昼夜別の交通事故件数では、一貫して昼間事故の方が夜間事故よりも多く、近年はいずれも減少傾向にある。

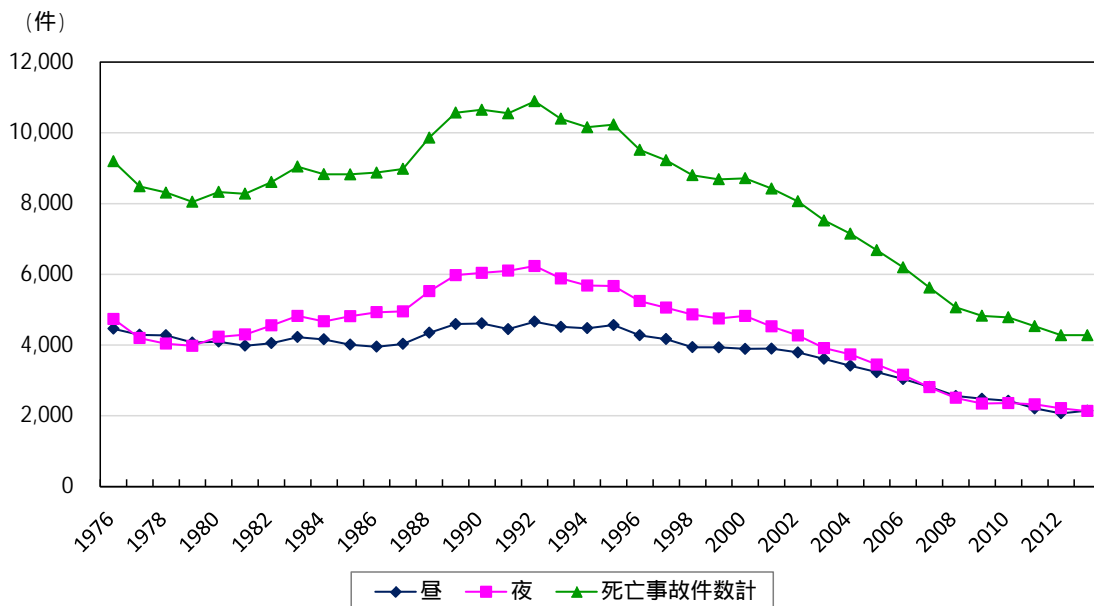
死亡事故に関しては長らく夜間事故の方が多かったが、近年は昼夜ほぼ同数となっている。

図表 3-13 昼夜別交通事故発生件数の推移



資料) 交通統計 (ITARDA) による

図表 3-14 昼夜別死亡事故発生件数の推移



資料) 交通統計 (ITARDA) による